

---

## 平成25年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成25年3月1日

質問者（質問順）

- 1 山本尚志委員（自民党）
- 2 瀬之間康浩委員（自民党）
- 3 大山しょうじ委員（民主党）
- 4 安西英俊委員（公明党）
- 5 有村俊彦委員（みんな）
- 6 大貫憲夫委員（共産党）

資源循環局

# 局 別 審 査

## 1 山 本 尚 志 委 員（自 民 党）

### 1 平成25年度予算について

- (1) 平成25年度予算編成を終えた局長の所感について伺いたい。
- (2) 資源循環局予算案の特徴について伺いたい。
- (3) 平成25年度に向けた取り組み姿勢について伺いたい。
- (要望) 豊かな環境を次代の子ども達に引き継ぐため、廃棄物処理を通じた地球温暖化対策などの取り組みについても、引き続き、積極的に取り組むよう要望します。

### 2 3R夢プランの推進について

- (1) 平成24年度のごみ量と資源化量の状況はそれぞれどのようなになっているのか。
- (2) 資源化量が増加しているが、どのような資源が増加したのか。
- (3) 事業系の木くずの資源化量が増えたということだが、木くずはどのような用途にリサイクルされているのか。
- (4) 3R夢プランを市民・事業者と共に進めるために、ごみと資源の総量の表し方や情報の発信の仕方に工夫が必要だと思うが、局長はどう考えるか。

### 3 3R夢プランの目標達成に向けた取り組みについて

- (1) 目標達成に向けて、どのような取り組みを進めていくのか。
- (2) 地域特性に応じた取り組みとは具体的にどのようなことなのか。
- (3) 3R夢プランの推進に向け、どのような方法で広報を進めていくのか。

### 4 平成25年度小型家電リサイクル調査検討事業について

- (1) 本市が小型家電のリサイクルを実施する意義について伺いたい。
- (2) 本市が小型家電リサイクルを実施する場合の課題について伺いたい。

(3) 平成25年度はどのような調査検討を行うのか。

(要望) 小型家電のリサイクルは、市民の皆様にとっても、ごみや3Rに関心を持っていただく良い啓発の機会であり、更なるごみと資源の削減が期待される施策であるため、積極的に取り組みを進めることを要望します。

## 2 瀬之間 康 浩 委員（自民党）

### 1 家庭ごみ収集運搬業務委託について

- (1) 家庭ごみの収集運搬業務委託のこれまでの経緯について伺いたい。
- (2) 過去3か年の委託率の推移について伺いたい。
- (3) 円滑に委託業務が開始されるために、どのような工夫をしているのか。
- (4) 民間委託の考え方について伺いたい。
- (5) 災害時における収集職員と収集車両の活用について伺いたい。

### 2 資源集団回収の持ち去り防止について

- (1) 古紙持ち去りの通報件数について伺いたい。
- (2) 改正条例施行に向けた準備状況について伺いたい。
- (3) 新たに設置する、パトロール隊の概要について伺いたい。
- (4) パトロール隊と収集事務所の連携はどのように行うのか。

### 3 不法投棄対策について

- (1) 本市における不法投棄の現状について伺いたい。
- (2) テレビなどの不法投棄の現状について伺いたい。
- (3) 港南区における不法投棄量について伺いたい。
- (4) 不法投棄対策の取り組み状況について伺いたい。
- (5) 夜間監視パトロールを実施する場所の選定方法やその具体的な手法について伺いたい。
- (6) 平成25年度の不法投棄対策について伺いたい。

### 4 処分場における放射線対策について

- (1) 処分場における放射能のモニタリングの結果について伺いたい。
- (2) これまで実施してきた放射線対策はどのようなものか。
- (3) 排水処理施設のセシウム除去設備はどのような時に稼働させるのか。

(要望) 市民の安心・安全を維持するため、引き続き、ごみ処理の様々な段階で放射線対策を適切に行い、万全の対策を取るよう要望します。

#### 5 南本牧第2ブロック最終処分場の延命化対策について

(1) 現在埋立を行っている南本牧第2ブロック処分場と、整備中の南本牧第5ブロック処分場の現状について伺いたい。

(2) 南本牧第2ブロック処分場の延命化対策の方向性について伺いたい。

(3) 南本牧第2ブロック処分場の延命化について、具体的にどのように取り組むのか。

(4) 延命化対策として実施する高密度化とは、具体的にどのような方法なのか。  
また、この方法を選択した理由について伺いたい。

(5) 処分場の延命化について、今後どのように進めていくのか。

(要望) 南本牧第5ブロック処分場の着実な整備と、3R夢プランの推進によるごみの減量化をしっかりと進めていただくことを要望します。

### 3 大 山 しょうじ 委員（民主党）

#### 1 3 R 夢プランの普及啓発について

- (1) 3 R 夢プランの市民に分かりやすい成果としてどのようなものがあったのか。
- (2) 3 R 夢プランは市民にどの程度浸透しているのか。
- (3) 3 R 夢プランをさらに浸透させるために、どのようなことに取り組んでいくのか。
- (4) 手つかず食品とは具体的にどのようなものか。
- (5) 家庭から出る燃やすごみに、手つかず食品はどのくらい含まれているのか。
- (6) 手つかず食品の削減の取り組みを具体的にどのように進めていくのか。
- (要望) 手つかず食品の削減の取り組みをはじめ、より具体的な取り組みメニューを分かりやすく発信し、啓発していくことを要望します。

#### 2 ふれあい収集等ぬくもりのある街横浜事業について

- (1) ふれあい収集と粗大ごみ持ち出し収集の事業開始からこれまでの実施状況について伺いたい。
- (2) ふれあい収集の将来的な件数の見込みについて、どのように考えているのか。
- (3) 今後対象者が増加していく中で、事業を安定的に持続するため、どのように対応していくのか。
- (4) 今後の事業の展望について伺いたい。
- (要望) ふれあい収集のような事業は、厳しい財政状況であっても優先順位を高く置き、持続することができるよう工夫して取り組んでいくことを要望します。

#### 3 喫煙禁止地区について

- (1) 喫煙禁止地区の取り組みの現状について伺いたい。
- (2) 喫煙禁止地区の追加・拡大について、どのように考えているのか。
- (3) 美化推進重点地区はどのように指定されているのか。
- (4) 区や地域が、歩きタバコやポイ捨て防止などに関する独自の取り組みを進め

る場合、局としては認めるのか。また、認める場合の支援策はどのようなものか。

#### 4 小型家電リサイクル法について

- (1) 小型家電リサイクル法に関する最近の国の動向について伺いたい。
- (2) 現在、本市では小型家電をどのように分別処理しているのか。
- (3) 認定事業者とはどのような調整を行うことになるのか。
- (4) 多くの品目を回収するべきと考えるが、局長の考えはどうか。
- (要望) 小型家電リサイクル法の制度を活用し、多くの品目を回収・リサイクルすることにより、ごみ量の削減や処分場の延命化など、3R夢プランの推進につなげていくことを要望します。

#### 5 食べきり協力店事業について

- (1) 食べきり協力店の登録状況について伺いたい。
- (2) 登録店舗の反応について伺いたい。
- (3) アンケート結果によると、どの程度の食べ残しの削減効果があったのか。また、登録店舗の今後の意向について伺いたい。
- (4) 今後、どのように登録店舗を増やしていくのか。
- (5) こうした取り組みを定着させるために、継続的な取組が必要と考えるが、今後の展開についてどのように考えているか。

#### 6 発電収入の確保について

- (1) 固定価格買取制度とはどのような制度か。また、どの焼却工場がこの制度に移行するのか。
- (2) 固定価格買取制度への移行をどのように判断したのか。
- (3) 旧制度から固定価格買取制度へ移行すると、トータルでどれくらいのメリットがあるのか。
- (4) 発電収入はどのように活用されているのか。
- (要望) 焼却工場の電力の売却は経費削減につながる取り組みであり、今後も様々な工夫により、更なる歳入の確保に努めていただくよう要望します。

#### 4 安西英俊委員（公明党）

##### 1 ヨコハマ3R夢プランの推進・普及啓発について

- (1) 生ごみの水切りの実証調査のねらいについて伺いたい。
- (2) 実証調査で得られた結果について伺いたい。
- (3) 実証調査にご協力いただいた方々の意見について伺いたい。
- (4) 生ごみの水切りの取り組みを、今後どのように全市へ広げていくのか。
- (5) 地域特性や対象者に合わせた啓発の推進が重要だと考えるが、港南区にはどのような地域特性があり、どのような啓発の取り組みが考えられるか。  
(要望) 港南区で行われている「チラシお断りシール」の効果を検証し、効果が見込まれるようであれば他区へも取り組みを広げるよう要望します。

##### 2 ふれあい収集について

- (1) ふれあい収集の申請者の中で、65歳以上の高齢者が占める割合について伺いたい。
- (2) 現在の実施体制と、申請から開始までに要する期間について伺いたい。
- (3) ふれあい収集時に安否確認を行う意義について伺いたい。
- (4) 防災計画における、ふれあい収集対象者の安否確認の位置づけについて伺いたい。
- (5) ふれあい収集の広報はどのように行っているのか。
- (6) 高齢化が進む中での廃棄物行政のあり方について伺いたい。  
(要望) 地域とのつながりが持てず、孤立化している方がいる現状において、ふれあい収集を通じたつながりが、見守り効果にもなっていると考えているため、引き続き取り組んでいくことを要望します。

##### 3 資源物の持ち去り対策について

- (1) 地域との連携はどのように進めているのか。
- (2) 回収業者との連携はどのように行っているのか。



(3) 市民が、契約している資源回収業者の車両であると認識できるようにするため、どのように取り組むのか。

#### 4 小型家電リサイクル制度での家電量販店等との協力について

(1) 小型家電リサイクル法の成立後、本市ではどのように取り組んできたのか。

(2) 家電量販店の協力を得て行われた、九都県市小型家電リサイクルキャンペーンの実施状況について伺いたい。

(3) 家電量販店などの販売店で直接小型家電を引き取ることができれば、市民も協力しやすいと思うが、局長の考えを伺いたい。

(要望) 3R夢プラン推進のためにも、市民の目線に立ち、効果的に制度が推進されるよう、よく調査検討を進めていただくことを要望します。

#### 5 ごみ発電の活用について

(1) 4焼却工場の発電量のうち、平成23年度の余剰電力量はどれくらいか。また、一般家庭の消費電力に換算すると何世帯分になるのか。

(2) 発電による余剰電力はどのように活用しているのか。

(3) ごみ発電等の地域電力ネットワークへの活用の考え方について伺いたい。

(要望) ごみ発電は、再生可能エネルギーを活用した地域電力ネットワークに有望な電源であり、防災の視点からも効果的な手段であるため、ネットワーク構築にあたっての課題解決に向けた検討を進めることを要望します。

## 5 有村俊彦委員（みんな）

### 1 降雪時の収集体制について

- (1) 降雪時のごみと資源物の収集における、取り残し及び交通事故防止に対する課題認識を伺いたい。
  - (2) 降雪時における収集の基本的な考え方について伺いたい。
  - (3) 降雪時の収集状況を知らせる方法として、ツイッターなどのソーシャルネットワークを活用できないか、局長の見解を伺いたい。
  - (4) 1月14日の雪に起因する交通事故が、本市と委託業者、それぞれ何件発生したのか。
  - (5) タイヤチェーン等は、本市と委託業者、それぞれどの程度配備されていたのか。
  - (6) タイヤチェーンを全車装備すること、及び降雪時の対応マニュアルを整備することに関する見解を伺いたい。
- (要望) 今後も大雪が降ることは考えられるため、様々な対策を総合的に取り組むことで、円滑かつ安全に業務を遂行して、少しでも市民の皆様の混乱をなくすことを要望します。

### 2 分別検索システム・スマートフォン版の普及啓発について

- (1) 分別検索システム「ミクショナリー」の検索数はどの程度か。
  - (2) どのような要因から検索数が伸びたと認識しているのか。
  - (3) スマートフォン版アプリのダウンロード件数はどの程度あるのか。
  - (4) スマートフォン版アプリの周知の手段として、市の所有する資産を有効に活用した広報に、すぐにでも取り組むべきだと考えるが、見解を伺いたい。
  - (5) 市民ニーズの分析などに取り組み、情報伝達機能の拡充を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (6) 局長はスマートフォンを使用しているか。
- (要望) 分別ゲームアプリなどのように、今後も横浜らしい先進的な取り組みを行

うことを要望します。

### 3 管理車両の有効活用と経費の節減について

- (1) 3R夢カーの制作に要する費用は、通常のごみ収集車に比べてどうなのか。
  - (2) ごみ収集車を広告媒体として活用し、収益を上げるという取り組みをすべきだと思うが、見解を伺いたい。
  - (3) 当局が管理している車両の台数と用途について伺いたい。
  - (4) 管理車両のうち、自己所有の車両台数、リースの車両台数はそれぞれどのぐらいあるのか。
  - (5) 自己所有の車両と、リースの車両の使用期間はそれぞれどれくらいか。
  - (6) 管理車両について、自己所有率を拡大すれば経費が削減されると考えるが、見解を伺いたい。
  - (7) リース契約満了後の車両を購入することで経費が節減できると考えるが、見解を伺いたい。
  - (8) リース契約の入札条件で、リース満了後の買取価格を追加し、購入した場合とトータルコストを比較するといった工夫ができると思うが、見解を伺いたい。
  - (9) リース契約の条件を、初めから自己所有の使用期間と同等の10年として入札を行うなどの工夫をすれば、経費が節減できると思うが、見解を伺いたい。
  - (10) 将来を見据えた予算の優先順位をつけることにより、局内の判断でも自己所有率を高め、経費が節減できると思うが、局長の考えを伺いたい。
- (要望) すべての事業において、柔軟な発想や様々な観点から、収入確保や経費節減について、引き続き工夫と努力をしていくことを要望します。

1 金沢工場溶融施設について

- (1) 南本牧第2ブロック処分場の延命化策はなぜ必要になったのか。
- (2) 南本牧第2ブロック処分場の使用期間と第5ブロック処分場の整備期間のスケジュールはリンクしていたのに、急に延命化策が必要になったのはなぜか。
- (3) 金沢工場の溶融施設が休止していたのはなぜか。
- (4) 金沢工場の溶融施設を稼働させていれば、南本牧第2ブロック処分場を延命化させる必要はなかったのではないか。
- (5) 平成7年から平成9年頃、なぜ溶融施設の整備は全国的に広がったのか。
- (6) 全国的に、溶融施設が休止や中止するようになってきているのはなぜか。
- (7) 機器の耐久性の問題や、燃料などの経費がかかるために横浜市も休止したのか。
- (8) 平成22年3月19日付環境省通知の内容について、説明していただきたい。
- (9) なぜ環境省は、一定の条件を満たす場合、補助金を使用して整備した溶融施設を、補助金の返還なしに処分してよいという通知を出したのか。
- (10) コストがかかり、費用対効果が悪いために溶融施設を中止する自治体が多かったのではないか。
- (11) 溶融施設のイニシャルコストはどれくらいかかったのか。また、年間のランニングコスト及び修繕費はどのくらいか。
- (12) 工場全体のイニシャルコストが、6百数十億円で、そのうち412億円が溶融施設のイニシャルコストではないのか。
- (13) 溶融施設の耐用年数はどのくらいか。
- (14) 溶融施設のランニングコストは年間約4億円とのことだが、電気代は、年間どのくらいか。
- (15) 溶融施設に係る補修費は、年間どのくらいか。
- (16) 溶融施設を稼働する場合の年間のランニングコストは、どの程度と見込まれるのか。

- (17) 溶融施設を稼働させるよりも、3R夢プランの推進を徹底していくべきではないか。
- (18) 市民と協働し、3R夢プランを徹底して推進すれば、灰溶融による処分場の延命化をする必要はないと思うが、見解を伺いたい。